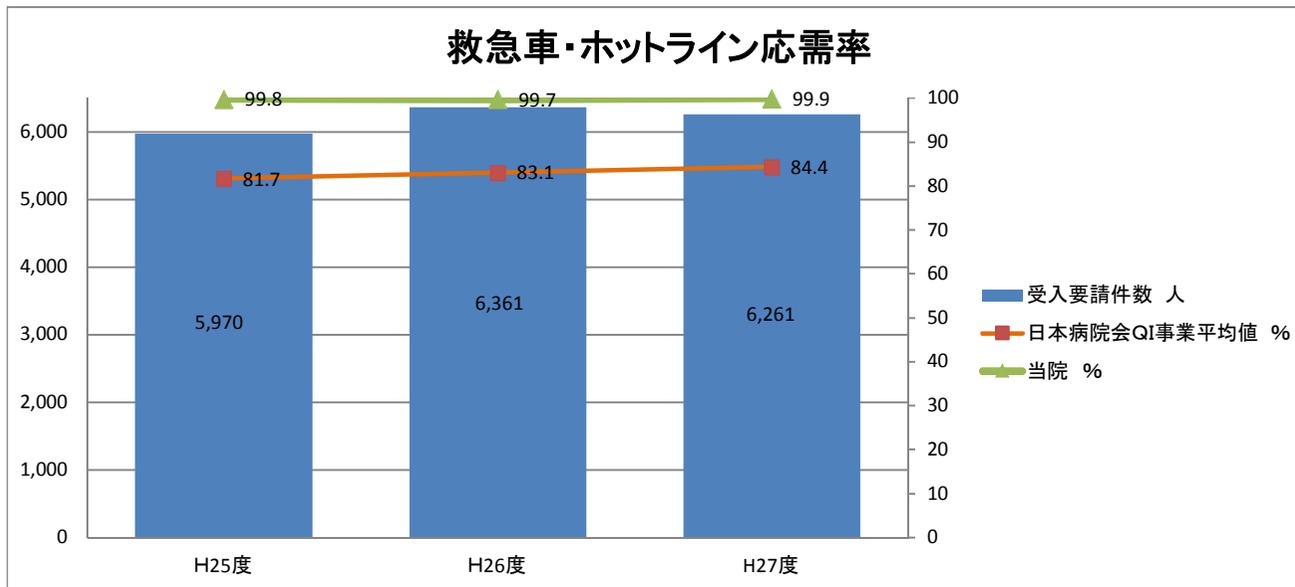


救急車・ホットライン応需率



計算方法

分子	救急車で来院した患者数
分母	救急車受入要請人数
除外	他院からの搬送（転送）件数

指標の解説

・「救急車・ホットラインの応需率」の向上は、救急診療を担当する医療者の人数、診療効率、入院を受け入れる病棟看護師や各診療科の協力など、さまざまな要素が係ります。

結果・考察

・応需率を高めるための取り組みとして、救急患者さんの受け入れに使用している救急病床を確保するように病床の調整を行うことが必要です。

・救急搬送については、盛岡市の救急医療の中核を担う病院として、救急搬送の受け入れに努めています。救急搬送応需率は、救急医療機関の受入の受け入れ能力を示す基本的な指標であり、平成27年は応需率99.9%に達しています。